U.S. Indicators

発表日:2021年6月28日(月)

米国企業景況は4-6月期の経済成長加速を示唆

~インフレ圧力は強いまま~

第一生命経済研究所 経済調査部 主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

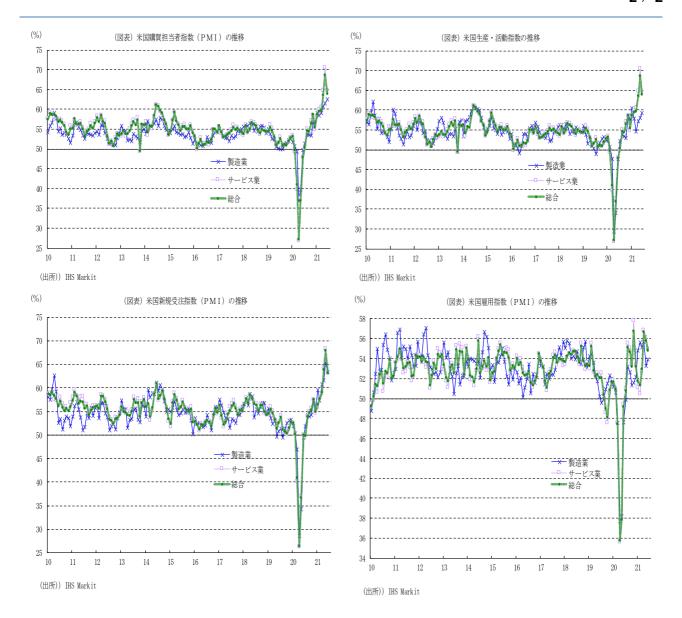
21年6月のIHSマークイット米国総合購買担当者指数 (PMI) の速報値は、63.9と前月比 4.8% p 低下したが、高い水準を維持しており、活発な企業活動の持続を示している (拡大縮小の分岐 点 50)。ワクチン接種の進展や新型コロナウイルスの感染拡大ペース鈍化を背景とした行動制限の緩和によって、経済成長が加速していることを示唆している。製造業が 62.6 と前月比 1.05% p 上昇し統計の作成が開始された 07年以降の最高水準を更新したほか、サービス業が 64.8 と前月比 5.6% p 低下したものの高い水準を維持した。また、先行きを占ううえで重要な新規受注が 63.1 と高い水準を維持しており、企業活動の好調が少なくとも数カ月持続することを示唆している。なお、速報値は集計期間が 6月 10日~22日と6月中旬までの企業の状況を示しており、行動規制の緩和によって6月末にかけて企業活動がより活発化していると考えられ、確報値で上方修正されると見込まれる。

サービス業では、雇用が 55.0 (前月 54.6) と上昇した一方、活動指数が 64.8 (前月 70.1)、新規受注が 63.1 (前月 67.8) と低下したが、高い水準を維持した。また、見通しを示す「将来の活動指数」が 72.2 (前月 72.2) と高水準を維持しており、企業の先行きに対する楽観的な見方は強いままである。

雇用に関して、製造業、サービス業ともに企業活動が活発な中、6月の雇用指数が小幅上昇しており、6月民間雇用者の増加ペースの小幅加速を示唆している。

インフレでは、製造業、サービス業ともに算出価格指数が小幅低下したが過去最高水準付近で高止まりしており、インフレ圧力が強いままであることを示している。

4-6 月期では、製造業が 62.1 (1-3 月期 59.4)、サービス業が 67.6 (同 61.6) とサービス業が 牽引する形で総合指数が 66.3 と 1-3 月期の 60.9 から 5.4% p 上昇しており、同期の経済成長加速を示している。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

